

令和6(2024)年度 学校経営計画 各学年重点目標と達成方法

中学1年 2024年度重点目標					
項目1	① 「学力向上に向けて」				
	<table border="1"> <tr> <td rowspan="3">目標</td> <td>自ら率先して学び、「考える力」を育成する。</td> </tr> <tr> <td>基本的な学習習慣および生活サイクルを身につけ、自ら考え、行動し、さらなる向上心を抱くことのできる生徒を育てる。</td> </tr> <tr> <td>グローバル人材育成のためにも実践的な英語力を中心に、国語による自己表現力、数学による論理的思考力を身につける。</td> </tr> </table>	目標	自ら率先して学び、「考える力」を育成する。	基本的な学習習慣および生活サイクルを身につけ、自ら考え、行動し、さらなる向上心を抱くことのできる生徒を育てる。	グローバル人材育成のためにも実践的な英語力を中心に、国語による自己表現力、数学による論理的思考力を身につける。
	目標		自ら率先して学び、「考える力」を育成する。		
			基本的な学習習慣および生活サイクルを身につけ、自ら考え、行動し、さらなる向上心を抱くことのできる生徒を育てる。		
グローバル人材育成のためにも実践的な英語力を中心に、国語による自己表現力、数学による論理的思考力を身につける。					
<table border="1"> <tr> <td rowspan="3">達成方法</td> <td>様々なことに対して「なぜ」を考えさせるように意識させる授業を行い、生徒自身が自ら答えを導けるような働きかけをしていく。</td> </tr> <tr> <td>スコーラ手帳(学習手帳)に記録する習慣をつけることにより、自身の学習習慣を定着化させて、意識的に学習に臨めるようにしていく。</td> </tr> <tr> <td>朝学習において、英語・国語・数学の小テストを実施し、日々の積み重ねから基礎学力を定着させていく。</td> </tr> </table>	達成方法	様々なことに対して「なぜ」を考えさせるように意識させる授業を行い、生徒自身が自ら答えを導けるような働きかけをしていく。	スコーラ手帳(学習手帳)に記録する習慣をつけることにより、自身の学習習慣を定着化させて、意識的に学習に臨めるようにしていく。	朝学習において、英語・国語・数学の小テストを実施し、日々の積み重ねから基礎学力を定着させていく。	
達成方法		様々なことに対して「なぜ」を考えさせるように意識させる授業を行い、生徒自身が自ら答えを導けるような働きかけをしていく。			
		スコーラ手帳(学習手帳)に記録する習慣をつけることにより、自身の学習習慣を定着化させて、意識的に学習に臨めるようにしていく。			
	朝学習において、英語・国語・数学の小テストを実施し、日々の積み重ねから基礎学力を定着させていく。				
項目2	② 「生きる力育成に向けて」				
	<table border="1"> <tr> <td rowspan="3">目標</td> <td>挨拶や正しい言葉遣いを心がけ、互いに過ごしやすい学校生活を送れるような環境を作れるような生徒を育成する。</td> </tr> <tr> <td>自分の理想とする将来像をイメージし、その将来像に向かって様々なことに興味を持って挑戦できる生徒を育成する。</td> </tr> <tr> <td>自分だけではなく、周囲の人のことも大切に思いやれるような道徳心を育む。</td> </tr> </table>	目標	挨拶や正しい言葉遣いを心がけ、互いに過ごしやすい学校生活を送れるような環境を作れるような生徒を育成する。	自分の理想とする将来像をイメージし、その将来像に向かって様々なことに興味を持って挑戦できる生徒を育成する。	自分だけではなく、周囲の人のことも大切に思いやれるような道徳心を育む。
	目標		挨拶や正しい言葉遣いを心がけ、互いに過ごしやすい学校生活を送れるような環境を作れるような生徒を育成する。		
			自分の理想とする将来像をイメージし、その将来像に向かって様々なことに興味を持って挑戦できる生徒を育成する。		
自分だけではなく、周囲の人のことも大切に思いやれるような道徳心を育む。					
<table border="1"> <tr> <td rowspan="3">達成方法</td> <td>「明るく元気に爽やかに」を常に心がけ、相手のことを思いやりを持って過ごすことを常に声かけをしていく。常に、相手の立場に立って過ごすことにより、日々の言葉遣いや態度はもちろんのこと、清掃活動や時間管理も意識できるように学年・学級活動を行っていく。</td> </tr> <tr> <td>LHRや探求活動などの取り組みにおいて、目先のことだけではなく、広い視野をもって物事を見られるような仕組みづくりを行う。そのことにより、自分の将来像に向かって様々なことに興味関心を抱き、自分で挑戦していくことの大切さを知れるようにしていく。</td> </tr> <tr> <td>道徳の授業を中心に、自分を知ることから「自分を大切にする」ことや、自分を取り巻く環境にいる人のことも大切にしていこうと学ばせ、豊かな心を育成していく。</td> </tr> </table>	達成方法	「明るく元気に爽やかに」を常に心がけ、相手のことを思いやりを持って過ごすことを常に声かけをしていく。常に、相手の立場に立って過ごすことにより、日々の言葉遣いや態度はもちろんのこと、清掃活動や時間管理も意識できるように学年・学級活動を行っていく。	LHRや探求活動などの取り組みにおいて、目先のことだけではなく、広い視野をもって物事を見られるような仕組みづくりを行う。そのことにより、自分の将来像に向かって様々なことに興味関心を抱き、自分で挑戦していくことの大切さを知れるようにしていく。	道徳の授業を中心に、自分を知ることから「自分を大切にする」ことや、自分を取り巻く環境にいる人のことも大切にしていこうと学ばせ、豊かな心を育成していく。	
達成方法		「明るく元気に爽やかに」を常に心がけ、相手のことを思いやりを持って過ごすことを常に声かけをしていく。常に、相手の立場に立って過ごすことにより、日々の言葉遣いや態度はもちろんのこと、清掃活動や時間管理も意識できるように学年・学級活動を行っていく。			
		LHRや探求活動などの取り組みにおいて、目先のことだけではなく、広い視野をもって物事を見られるような仕組みづくりを行う。そのことにより、自分の将来像に向かって様々なことに興味関心を抱き、自分で挑戦していくことの大切さを知れるようにしていく。			
	道徳の授業を中心に、自分を知ることから「自分を大切にする」ことや、自分を取り巻く環境にいる人のことも大切にしていこうと学ばせ、豊かな心を育成していく。				
項目3	③ 「学校教育環境整備と質向上に向けて」				
	<table border="1"> <tr> <td rowspan="2">目標</td> <td>生徒が学習活動を中心とした学校生活において、安全でかつ発展的に過ごせるためにICTを活用していく。</td> </tr> <tr> <td>manabaを中心に、学校からの情報を保護者へ発信し、学校と家庭が連携して生徒をサポートできるような信頼関係を築いていく。</td> </tr> </table>	目標	生徒が学習活動を中心とした学校生活において、安全でかつ発展的に過ごせるためにICTを活用していく。	manabaを中心に、学校からの情報を保護者へ発信し、学校と家庭が連携して生徒をサポートできるような信頼関係を築いていく。	
	目標		生徒が学習活動を中心とした学校生活において、安全でかつ発展的に過ごせるためにICTを活用していく。		
manabaを中心に、学校からの情報を保護者へ発信し、学校と家庭が連携して生徒をサポートできるような信頼関係を築いていく。					
<table border="1"> <tr> <td>達成方法</td> <td>ICTリテラシーを学ぶことにより、安全・適切に使用できるような仕組みづくりをする。また、資料作成やプレゼンテーションなど使用機会を設けることにより、生徒のICTスキルが向上できるようにしていく。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>学年通信や学級通信を、manabaに掲載し、生徒の活動報告や学校の活動予定を共有していく。</td> </tr> </table>	達成方法	ICTリテラシーを学ぶことにより、安全・適切に使用できるような仕組みづくりをする。また、資料作成やプレゼンテーションなど使用機会を設けることにより、生徒のICTスキルが向上できるようにしていく。		学年通信や学級通信を、manabaに掲載し、生徒の活動報告や学校の活動予定を共有していく。	
達成方法	ICTリテラシーを学ぶことにより、安全・適切に使用できるような仕組みづくりをする。また、資料作成やプレゼンテーションなど使用機会を設けることにより、生徒のICTスキルが向上できるようにしていく。				
	学年通信や学級通信を、manabaに掲載し、生徒の活動報告や学校の活動予定を共有していく。				

令和6(2024)年度 学校経営計画 各学年重点目標と達成方法

中学2年 2024年度重点目標					
	① 「学力向上に向けて」				
	<table border="1"> <tr> <td rowspan="3">目標</td> <td>「自学自習」の習慣化</td> </tr> <tr> <td>検定（英検・数検）を取得する力の育成</td> </tr> <tr> <td>高校の進路選択で苦手な分野を諦める考えを持たせるのではなく、学びたい分野を増やす力をつける</td> </tr> </table>	目標	「自学自習」の習慣化	検定（英検・数検）を取得する力の育成	高校の進路選択で苦手な分野を諦める考えを持たせるのではなく、学びたい分野を増やす力をつける
	目標		「自学自習」の習慣化		
			検定（英検・数検）を取得する力の育成		
高校の進路選択で苦手な分野を諦める考えを持たせるのではなく、学びたい分野を増やす力をつける					
<table border="1"> <tr> <td rowspan="4">達成方法</td> <td>スコラ手帳や学習指導計画表を活用し、計画・振り返りができ、次に繋げられるように意識を持たせる。</td> </tr> <tr> <td>提出物などの日々の連絡、小テストなど学習の計画など、自己管理することにスコラ手帳の活用をさせる。</td> </tr> <tr> <td>検定取得のために、朝学習で1年次の復習問題や新聞を活用し読む力が身につくように取り組ませていく。</td> </tr> <tr> <td>進路実現及びグローバル化対応に必須である英語に重点を置き、教科と学年が連携しながら英語力向上を図る。</td> </tr> </table>	達成方法	スコラ手帳や学習指導計画表を活用し、計画・振り返りができ、次に繋げられるように意識を持たせる。	提出物などの日々の連絡、小テストなど学習の計画など、自己管理することにスコラ手帳の活用をさせる。	検定取得のために、朝学習で1年次の復習問題や新聞を活用し読む力が身につくように取り組ませていく。	進路実現及びグローバル化対応に必須である英語に重点を置き、教科と学年が連携しながら英語力向上を図る。
達成方法		スコラ手帳や学習指導計画表を活用し、計画・振り返りができ、次に繋げられるように意識を持たせる。			
		提出物などの日々の連絡、小テストなど学習の計画など、自己管理することにスコラ手帳の活用をさせる。			
		検定取得のために、朝学習で1年次の復習問題や新聞を活用し読む力が身につくように取り組ませていく。			
	進路実現及びグローバル化対応に必須である英語に重点を置き、教科と学年が連携しながら英語力向上を図る。				
項目2	② 「生きる力育成に向けて」				
	<table border="1"> <tr> <td rowspan="3">目標</td> <td>「日常の五心」を無意識に心掛けることができ、社会人として生活するための基本的な作法を身につける。</td> </tr> <tr> <td>道徳教育、ピアサポート教育を通して自分および学校の一員としての誇りを持たせる。</td> </tr> <tr> <td>自分自身を大切にするとともに、周囲にも寄り添うことのできる心を育てる。</td> </tr> </table>	目標	「日常の五心」を無意識に心掛けることができ、社会人として生活するための基本的な作法を身につける。	道徳教育、ピアサポート教育を通して自分および学校の一員としての誇りを持たせる。	自分自身を大切にするとともに、周囲にも寄り添うことのできる心を育てる。
	目標		「日常の五心」を無意識に心掛けることができ、社会人として生活するための基本的な作法を身につける。		
			道徳教育、ピアサポート教育を通して自分および学校の一員としての誇りを持たせる。		
自分自身を大切にするとともに、周囲にも寄り添うことのできる心を育てる。					
<table border="1"> <tr> <td rowspan="3">達成方法</td> <td>元気に明るく爽やかな挨拶をする、時間を意識した行動、整理整頓など、日常生活の基本的な取り組みに積極的に取り組ませる。</td> </tr> <tr> <td>日常生活の問題を考えさせ、自ら行動できるように話し合いをする機会を持たせる。また、学校周辺の美化など奉仕する機会を設け取り組ませる。</td> </tr> <tr> <td>自分の気持ちを誤解のないように言葉を選んで相手に伝えるように表現でき、「ありがとう」「ごめんなさい」という言葉を大切にし、口に出して気持ちを込めて伝えることができるように、周囲への気遣いができるように常に声掛けをしていく。</td> </tr> </table>	達成方法	元気に明るく爽やかな挨拶をする、時間を意識した行動、整理整頓など、日常生活の基本的な取り組みに積極的に取り組ませる。	日常生活の問題を考えさせ、自ら行動できるように話し合いをする機会を持たせる。また、学校周辺の美化など奉仕する機会を設け取り組ませる。	自分の気持ちを誤解のないように言葉を選んで相手に伝えるように表現でき、「ありがとう」「ごめんなさい」という言葉を大切にし、口に出して気持ちを込めて伝えることができるように、周囲への気遣いができるように常に声掛けをしていく。	
達成方法		元気に明るく爽やかな挨拶をする、時間を意識した行動、整理整頓など、日常生活の基本的な取り組みに積極的に取り組ませる。			
		日常生活の問題を考えさせ、自ら行動できるように話し合いをする機会を持たせる。また、学校周辺の美化など奉仕する機会を設け取り組ませる。			
	自分の気持ちを誤解のないように言葉を選んで相手に伝えるように表現でき、「ありがとう」「ごめんなさい」という言葉を大切にし、口に出して気持ちを込めて伝えることができるように、周囲への気遣いができるように常に声掛けをしていく。				
項目3	③ 「学校教育環境整備と質向上に向けて」				
	<table border="1"> <tr> <td rowspan="2">目標</td> <td>ICTリテラシーを理解し、ICTを適切に活用する力を養う。</td> </tr> <tr> <td>manabaを活用して保護者と学校とが連携し、生徒の成長とともに見守れるような信頼関係を築く。</td> </tr> </table>	目標	ICTリテラシーを理解し、ICTを適切に活用する力を養う。	manabaを活用して保護者と学校とが連携し、生徒の成長とともに見守れるような信頼関係を築く。	
	目標		ICTリテラシーを理解し、ICTを適切に活用する力を養う。		
		manabaを活用して保護者と学校とが連携し、生徒の成長とともに見守れるような信頼関係を築く。			
<table border="1"> <tr> <td rowspan="3">達成方法</td> <td>情報モラルに関するガイダンスを実施し、ICT使用のルールを守り、SNSのリスク等も理解しながら、活用方法を考えさせる。</td> </tr> <tr> <td>学年通信・学級通信やお知らせなどでmanabaを積極的に活用し、活動報告・情報公開を進めていく。</td> </tr> <tr> <td>学校評価の実施後の改善に取り組む。</td> </tr> </table>	達成方法	情報モラルに関するガイダンスを実施し、ICT使用のルールを守り、SNSのリスク等も理解しながら、活用方法を考えさせる。	学年通信・学級通信やお知らせなどでmanabaを積極的に活用し、活動報告・情報公開を進めていく。	学校評価の実施後の改善に取り組む。	
達成方法		情報モラルに関するガイダンスを実施し、ICT使用のルールを守り、SNSのリスク等も理解しながら、活用方法を考えさせる。			
		学年通信・学級通信やお知らせなどでmanabaを積極的に活用し、活動報告・情報公開を進めていく。			
	学校評価の実施後の改善に取り組む。				

令和6(2024)年度 学校経営計画 各学年重点目標と達成方法

中学3年 2024年度重点目標	
項目1	① 「学力向上に向けて」
	<p>目標</p> <p>グローバル人材の育成・基礎学力の向上の観点から、各種検定への挑戦・大学受験に対応できる基礎力の完成を目指す。また、実践的な英語力の獲得を目指し、英語4技能向上のために取り組む。</p> <p>キャリア教育を通じて、進路実現に向けて自ら考え、計画を立てさせる。計画を行動できる生徒を育成しつつ、学習へのモチベーションを上げていく。</p> <p>各種学校行事を通して地球市民としての課題に向き合い、共感的コミュニケーションスキルを活かして、解決方法を探っていく。学</p>
	<p>達成方法</p> <p>定期考査・MMT・朝学習での目標を意識し、基礎的な力を準備して取り組ませる。各種検定の受験・各種プロジェクトへの参加を推奨し、学年全体として生徒自身の挑戦の機会を用意する。Weblio studyを活用して、アウトプットに力を入れていく。</p> <p>スコラ手帳を活用し、生徒自ら学習・日常生活の管理ができるように継続して指導していく。日常的にPDR (Prep・Do・Review) サイクルを意識させるとともに、妻中サクセスの実行・メモの取り方も工夫させる。各種検定結果・各種行事（進路ガイダンスを含む）・様々な活動やプログラムの振り返りをスタディサブリの活動メモに保存し、達成感・自己肯定感を高めていく。</p> <p>校内外の様々な活動を通して「知る・学ぶ」ことの意義を考え、深い「学び」から得られたものを整理・蓄積する力をつけていく。周囲と深い「学び」を共有し、他者・社会に貢献する喜びを体感させていく。</p>
項目2	② 「生きる力育成に向けて」
	<p>目標</p> <p>よりよい社会の創造に貢献する人として生きていくために必要不可欠な基本的な作法・礼儀を身につける。</p> <p>基本的な生活習慣を身につけ、心身の健やかな成長を促す。</p> <p>自分自身を大切にするとともに、周囲にも寄り添うことのできる心を育てる。</p>
	<p>達成方法</p> <p>平和・環境学習旅行やキャリア教育活動において、社会人の方や大学生の方とのかかわりの中から、社会生活を円滑に送ることのできるスキルを体感し、基本的な作法・礼儀の実践を目指していく。</p> <p>挨拶、「日常の五心」、時間厳守などけじめのある生活が送れるよう、周囲へ感謝の心を持つよう指導していく。進路実現に向けた「自主・自立の精神の構築」へと促していく。</p> <p>校内外の活動において、道徳教育やピア・サポート教育を通して学んだ知識を活かし、お互い協力しながら豊かな心を養っていく。</p>
項目3	③ 「学校教育環境整備と質向上に向けて」
	<p>目標</p> <p>ICTリテラシーを理解し、ICTを適切に活用する力を養う。</p> <p>manabaを活用して保護者と学校とが連携し、両方で生徒の成長をともに見守れるような信頼関係を築く。</p>
	<p>達成方法</p> <p>ICT使用のルールを守り、SNSの危険性・リスク等も理解しながら、効果的な活用方法を体感させる。</p> <p>学校評価を実施し、取り組みについての改善・改革を行い、教育活動の向上を図っていく。学年・学級通信やお知らせなどでmanabaを積極的に活用し、活動報告・情報公開を進めていく。</p>

令和6(2024)年度 学校経営計画 各学年重点目標と達成方法

高校1年 2024年度重点目標					
項目1	① 「学力向上に向けて」				
	<table border="1"> <tr> <td rowspan="3">目標</td> <td>進路実現のために必要な学力を養う</td> </tr> <tr> <td>将来を見据えて社会性・自立心を身に着けるための学習を実施する</td> </tr> <tr> <td>5教科の偏りを減らし、バランスよく基礎学力を身に着ける</td> </tr> </table>	目標	進路実現のために必要な学力を養う	将来を見据えて社会性・自立心を身に着けるための学習を実施する	5教科の偏りを減らし、バランスよく基礎学力を身に着ける
	目標		進路実現のために必要な学力を養う		
			将来を見据えて社会性・自立心を身に着けるための学習を実施する		
5教科の偏りを減らし、バランスよく基礎学力を身に着ける					
<table border="1"> <tr> <td rowspan="2">達成方法</td> <td>与えられた課題をこなすことや、授業・講習に参加することで満足してしまうことなく、自らに課題を設定し解決するための学習を意識する。学校で自学自習の時間を増やすため、朝学習・放課後延長学習など学習機会の提供に努める。大学受験への準備段階として、小手先ではなく応用可能な基礎学力を着実に身に着ける。</td> </tr> <tr> <td>自らが選択する大学・学部も含めて「なぜ」を追究し考察する力を養えるよう、キャリア教育や社会への関心を意識させる。</td> </tr> </table>	達成方法	与えられた課題をこなすことや、授業・講習に参加することで満足してしまうことなく、自らに課題を設定し解決するための学習を意識する。学校で自学自習の時間を増やすため、朝学習・放課後延長学習など学習機会の提供に努める。大学受験への準備段階として、小手先ではなく応用可能な基礎学力を着実に身に着ける。	自らが選択する大学・学部も含めて「なぜ」を追究し考察する力を養えるよう、キャリア教育や社会への関心を意識させる。		
達成方法		与えられた課題をこなすことや、授業・講習に参加することで満足してしまうことなく、自らに課題を設定し解決するための学習を意識する。学校で自学自習の時間を増やすため、朝学習・放課後延長学習など学習機会の提供に努める。大学受験への準備段階として、小手先ではなく応用可能な基礎学力を着実に身に着ける。			
	自らが選択する大学・学部も含めて「なぜ」を追究し考察する力を養えるよう、キャリア教育や社会への関心を意識させる。				
進路を決定するのではなく、探す期間としてSTEP2の位置づけを意識させる。					
項目2	② 「生きる力育成に向けて」				
	<table border="1"> <tr> <td rowspan="2">目標</td> <td>他者を理解する力と社会への関心を育む</td> </tr> <tr> <td>自己理解、自己表現する力を涵養する</td> </tr> </table>	目標	他者を理解する力と社会への関心を育む	自己理解、自己表現する力を涵養する	
	目標		他者を理解する力と社会への関心を育む		
		自己理解、自己表現する力を涵養する			
<table border="1"> <tr> <td rowspan="2">達成方法</td> <td>個々に進路や今やるべきことについて悩み、考える時期だからこそ、周囲への配慮や理解が重要となる。他者に対して想像力を働かせることで、学校内だけでなく社会において必要な視野の広さを身に着ける。</td> </tr> <tr> <td>自己の興味・関心と社会で起きている諸問題とを結びつけることで、将来自分がどのような道で社会に貢献できるかを考えさせる。</td> </tr> </table>	達成方法	個々に進路や今やるべきことについて悩み、考える時期だからこそ、周囲への配慮や理解が重要となる。他者に対して想像力を働かせることで、学校内だけでなく社会において必要な視野の広さを身に着ける。	自己の興味・関心と社会で起きている諸問題とを結びつけることで、将来自分がどのような道で社会に貢献できるかを考えさせる。		
達成方法		個々に進路や今やるべきことについて悩み、考える時期だからこそ、周囲への配慮や理解が重要となる。他者に対して想像力を働かせることで、学校内だけでなく社会において必要な視野の広さを身に着ける。			
	自己の興味・関心と社会で起きている諸問題とを結びつけることで、将来自分がどのような道で社会に貢献できるかを考えさせる。				
項目3	③ 「学校教育環境整備と質向上に向けて」				
	<table border="1"> <tr> <td rowspan="2">目標</td> <td>生徒・保護者と緊密な連携を図る</td> </tr> <tr> <td>ネットリテラシーの習熟を目指す</td> </tr> </table>	目標	生徒・保護者と緊密な連携を図る	ネットリテラシーの習熟を目指す	
	目標		生徒・保護者と緊密な連携を図る		
		ネットリテラシーの習熟を目指す			
<table border="1"> <tr> <td rowspan="2">達成方法</td> <td>学年通信や各種ガイダンスの実施により、進路関係の情報や学校生活についての情報を定期的に公開し、細やかに連携をとる。一方で、自立を促すために過剰な保護を避け、生徒自ら必要な情報をまとめる機会を増やしていく。</td> </tr> <tr> <td>SNSの危険性や功罪を理解し、「使わせない」ための指導ではなく「正しく使う」ためのICT教育を実践する。</td> </tr> </table>	達成方法	学年通信や各種ガイダンスの実施により、進路関係の情報や学校生活についての情報を定期的に公開し、細やかに連携をとる。一方で、自立を促すために過剰な保護を避け、生徒自ら必要な情報をまとめる機会を増やしていく。	SNSの危険性や功罪を理解し、「使わせない」ための指導ではなく「正しく使う」ためのICT教育を実践する。		
達成方法		学年通信や各種ガイダンスの実施により、進路関係の情報や学校生活についての情報を定期的に公開し、細やかに連携をとる。一方で、自立を促すために過剰な保護を避け、生徒自ら必要な情報をまとめる機会を増やしていく。			
	SNSの危険性や功罪を理解し、「使わせない」ための指導ではなく「正しく使う」ためのICT教育を実践する。				

令和6(2024)年度 学校経営計画 各学年重点目標と達成方法

高校2年 2024年度重点目標	
項目1	① 「学力向上に向けて」
	目標
	達成方法
	達成方法
	達成方法
	達成方法
項目2	② 「生きる力育成に向けて」
	目標
	達成方法
	達成方法
	達成方法
	達成方法
項目3	③ 「学校教育環境整備と質向上に向けて」
	目標
	達成方法
	達成方法

令和6(2024)年度 学校経営計画 各学年重点目標と達成方法

高校3年 2024年度重点目標	
項目1	<p>目標</p> <p>(1)高校3年生における学習では「深い学び」を意識することで、新しい入試制度にも対応できる力をつけ、生徒の進路目標を実現する。</p> <p>(2)大学入試のサポートは学年だけでなく、学校全体で受験生を支えていく体制を目指しています。</p>
	<p>達成方法</p> <p>この学年から大学入試は新しい形式となり、国公立では「情報」が受験科目として必須となり、私立大学でも3科目目として採用する学校も出てきています。また共通テストではそれぞれの科目で「探究」が表面に出てきているので、単純な暗記ではなく、深く考えることのできる人材育成を目指したい。資料を読み取り、資料から言えることを見極め、自分の考えを組み立てられるような授業の工夫を続けて行くとともに、短い対面授業の期間ではあるが、主体的に学び、それを発信できるように授業を通して働き</p> <p>生徒の進路実現のために、学年の情報を学年教員や学年の授業担当教員だけでなく、学校全体で共有し、生徒を支えていけるようにする。またグローバルセンターとの連携を進め、外部検定利用入試や海外入試なども積極的にさせていきたい。</p>
項目2	<p>② 「生きる力育成に向けて」</p>
	<p>目標</p> <p>(1) 高校3年生として学校の模範となる生徒を育成する。</p> <p>(2) 成人としてインターネットやSNS等との適切な付き合い方も指導し、生徒が受験勉強中も卒業後も適切な使い方ができるようになることを目指す。</p> <p>達成方法</p> <p>他者に対する思いやり、モラル、規範意識等については高校1年生から指導し続けてきた。しかし、受験期になるとこれらがルーズになる生徒も出やすい。そこで受験学年は特別なものではないということも伝えながら、生徒指導方針に準拠した指導を変わらず続けていく。</p> <p>インターネットやSNSをうまく使える生徒とそうでない生徒にまだまだ分かれている。情報の授業および学年としての情報モラル教育を通して、ネットワークとのうまい付き合い方を自分で考え、卒業後も適切な使い方ができるようになるように指導する。</p>
項目3	<p>③ 「学校教育環境整備と質向上に向けて」</p>
	<p>目標</p> <p>(1) 保護者向けのガイダンスに関して、対面指導とmanabaなどを使用した情報発信を円滑に進めていく。特に、進路面ではガイダンスや『進路部通信』を充実させ、保護者と情報を共有していく。</p> <p>(2) 高校3年間の取り組みを整理し、次年度以後の学校教育環境にも提案をしていく。</p> <p>達成方法</p> <p>対面での保護者会は限られているので、manabaを通じた情報発信も充実させていく。今年度はどうしても個別対応が増えるので、全体での説明、推薦等該当者のみへの説明、個人への説明の方法を分けた上で、進路主幹・学年主任・学年進路担当・担任等発信方法を工夫していく。</p> <p>歴代の高校3年生のデータの蓄積を生かしつつ、この学年の取り組みや保護者アンケートの結果等も生かして、学年としての取り組みも次の学年の取り組みにも活かせるようにまとめていく。</p>